

平成25年度 中間決算ハイライト



平成25年度 中間決算の概要（総括）

- 経常収益は 27,559百万円（前期比△4,106百万円 当初計画比+1,559百万円）
- 経常利益は 7,376百万円（前期比△2,149百万円 当初計画比+1,876百万円）
- 中間純利益は 3,334百万円（前期比△1,967百万円 当初計画比+ 334百万円）
- コア業務純益は8,428百万円（前期比△ 260百万円 当初計画比+ 428百万円）
- 全体としては、3期ぶりの減収減益。
- 単体自己資本比率は前期末比+0.15%の13.26%となりました。
- 金融再生法開示債権が総与信に占める割合（不良債権比率）は前期末比△0.10%の3.34%となりました。

(1) 損益の概要

【単体】

（単位：百万円）

	24年度中間	25年度中間	増減額	増減率
経常収益	31,665	27,559	△ 4,106	△ 12.9%
経常利益	9,525	7,376	△ 2,149	△ 22.5%
中間純利益	5,301	3,334	△ 1,967	△ 37.1%
コア業務純益	8,688	8,428	△ 260	△ 2.9%

【連結】

（単位：百万円）

	24年度中間	25年度中間	増減額	増減率
経常収益	37,238	33,150	△ 4,088	△ 10.9%
経常利益	10,673	8,514	△ 2,159	△ 20.2%
中間純利益	5,629	3,651	△ 1,978	△ 35.1%

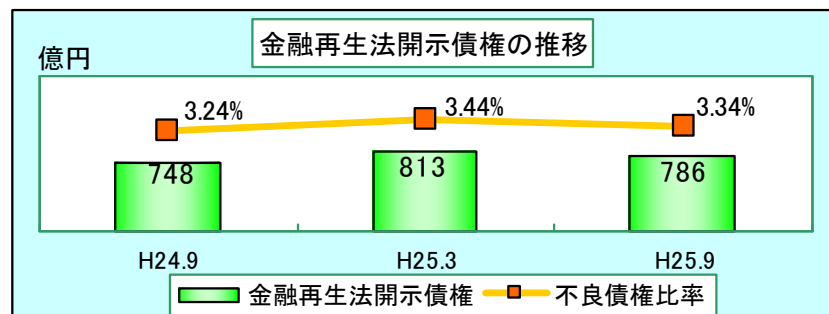
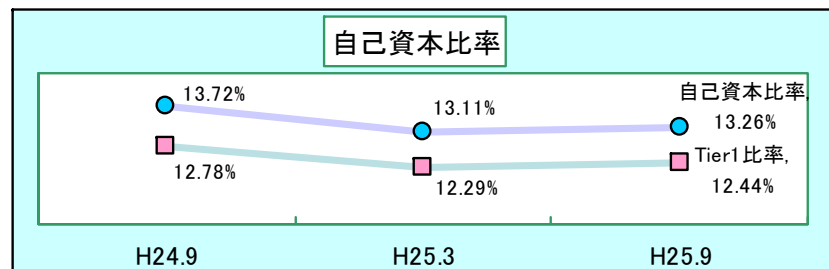
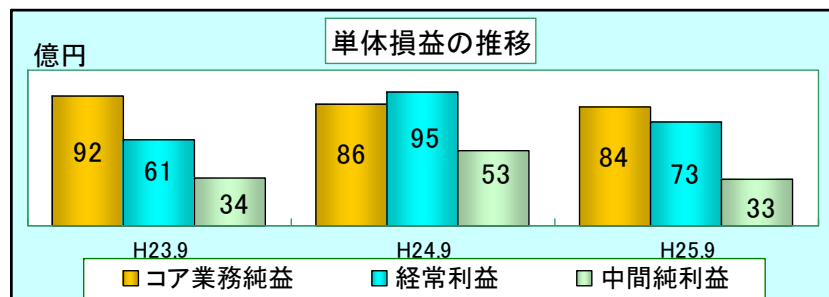
(2) 自己資本比率【単体】

	24.9末	25.3末	25.9末	25.3末比
単体自己資本比率	13.72%	13.11%	13.26%	0.15%
(Tier1比率)	(12.78%)	(12.29%)	(12.44%)	(0.15%)

(3) 金融再生法開示債権【単体】

（単位：億円）

	24.9末	25.3末	25.9末	25.3末比
金融再生法開示債権	748	813	786	△ 27
(不良債権比率)	(3.24%)	(3.44%)	(3.34%)	(△0.10%)



平成25年度 中間決算の概要（単体）

• 業務粗利益（除く債券関係損益）	23,363百万円（前期比 △ 429百万円）
• 経費	14,934百万円（前期比 △ 169百万円）
• コア業務純益	8,428百万円（前期比 △ 260百万円）
• 経常利益	7,376百万円（前期比 △2,149百万円）
• 中間純利益	3,334百万円（前期比 △1,967百万円）

（百万円）

		24年度中間	25年度中間	増 減
業務粗利益		27,398	23,107	△ 4,291
（除く債券関係損益）		(23,792)	(23,363)	(△ 429)
資金利益		20,750	20,206	△ 544
役務取引等利益		2,881	3,036	155
その他業務利益		3,766	△ 135	△ 3,901
うち債券関係損益		3,606	△ 255	△ 3,861
経費	(△)	15,103	14,934	△ 169
コア業務純益		8,688	8,428	△ 260
一般貸倒引当金繰入額 ①	(△)	△ 507	149	656
業務純益		12,803	8,023	△ 4,780
臨時損益		△ 3,277	△ 647	2,630
うち株式関係損益		△ 1,716	477	2,193
うち不良債権処理額 ②	(△)	1,696	1,848	152
うち償却債権取立益 ③		421	653	232
経常利益		9,525	7,376	△ 2,149
特別損益		△ 774	△ 539	235
中間純利益		5,301	3,334	△ 1,967
実質不良債権処理額 ①+②-③		768	1,344	576

[業務粗利益（除く債券関係損益） 前期比△429百万円]

- ・ 役務取引等利益は増加したが、資金運用利回り低下による資金利益の減少が大きく、前期比減少となった。

[経費 前期比△169百万円]

- ・ 生産性の向上への継続的な取り組みにより、経費は前期比減少となった。

[コア業務純益 前期比△260百万円]

- ・ 資金利益の低下部分を役務利益や経費削減等への取り組みで補うものの、前期比減少。

[経常利益 前期比△2,149百万円]

- ・ 有価証券関係損益の減少を主因として前期比減少した。

[有価証券関係損益 前期比△1,668百万円]

- ・ 債券関係損益 前期比△3,861百万円
前期に比べて債券売却が少なかったため減少した。
- ・ 株式関係損益 前期比+2,193百万円
株式相場の回復により、上場株式の償却が前期比減少した。

[実質不良債権処理額 前期比+576百万円]

- ・ 一部取引先に対する引当方法の変更により前期比増加したが、当初見込み（中間期2,000百万円）を下回った。

[特別損益 前期比+235百万円]

- ・ 減損損失が減少した為。

[中間純利益 前期比△1,967百万円]

- ・ 経常利益の減少に伴い、中間純利益は前期比減少となった。

[配当]

- ・ 安定配当相当6円に創立70周年記念配当1円を加えて、年間7円。

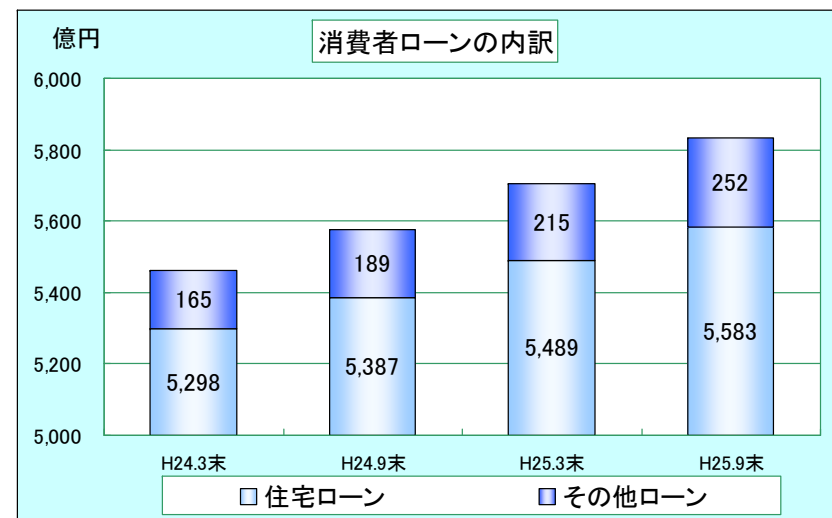
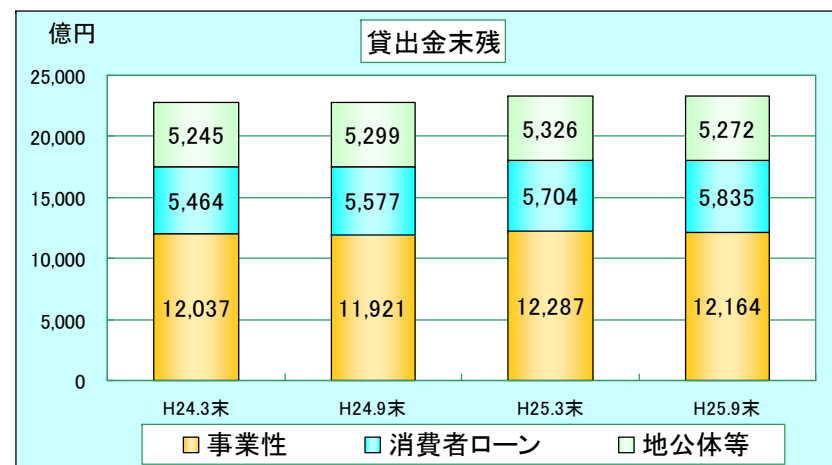
貸出金

- 貸出金残高は、事業性貸出及び消費者ローンが増加し、24年9月末比+475億円の2兆3,272億円となりました。
- 事業性貸出金は、24年9月末比+243億円の1兆2,164億円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン及びその他ローン（カードローン、マイカーローン等）ともに順調に増加しております。

○貸出金の内訳

(億円)

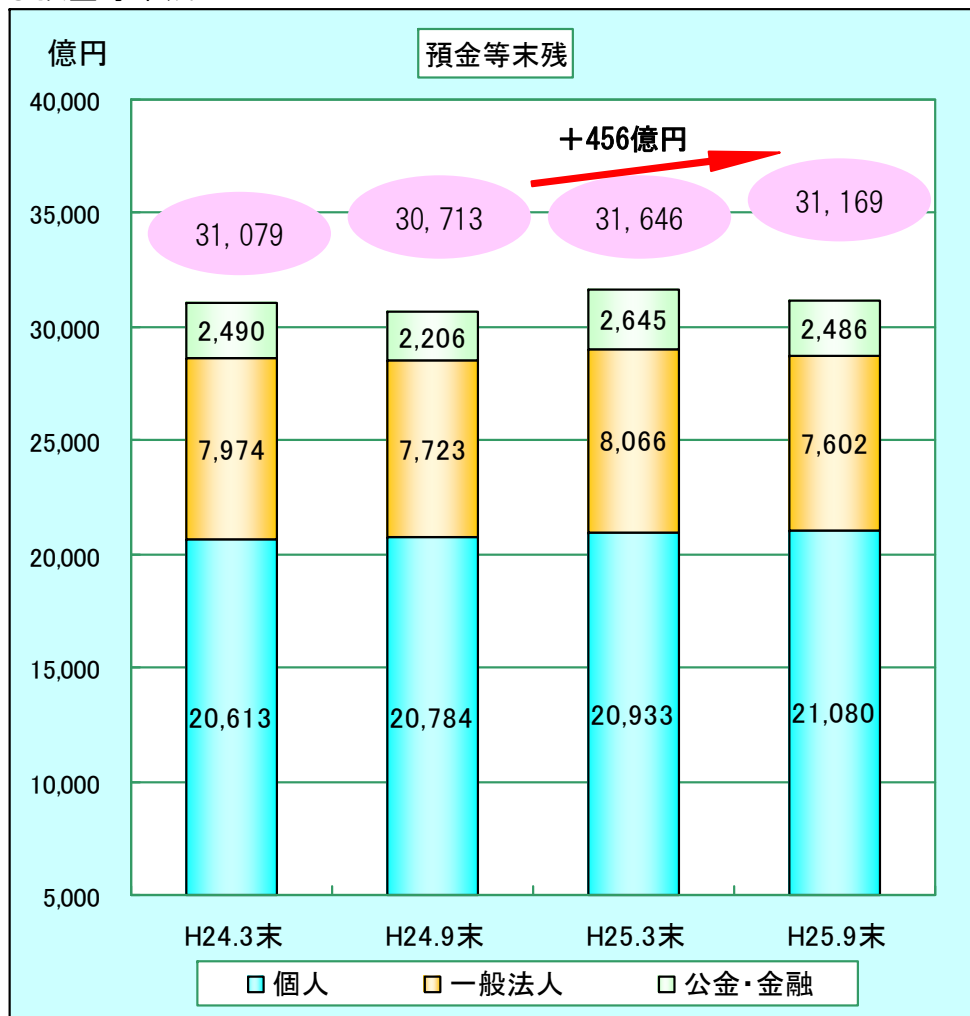
	H24. 3末	H24. 9末	H25. 3末	H25. 9末	増減 (24. 9末比)
事業性貸出	12,037	11,921	12,287	12,164	243
消費者ローン	5,464	5,577	5,704	5,835	258
うち住宅ローン	5,298	5,387	5,489	5,583	196
うちその他ローン	165	189	215	252	63
地公体等	5,245	5,299	5,326	5,272	△ 27
貸出金計	22,747	22,797	23,319	23,272	475



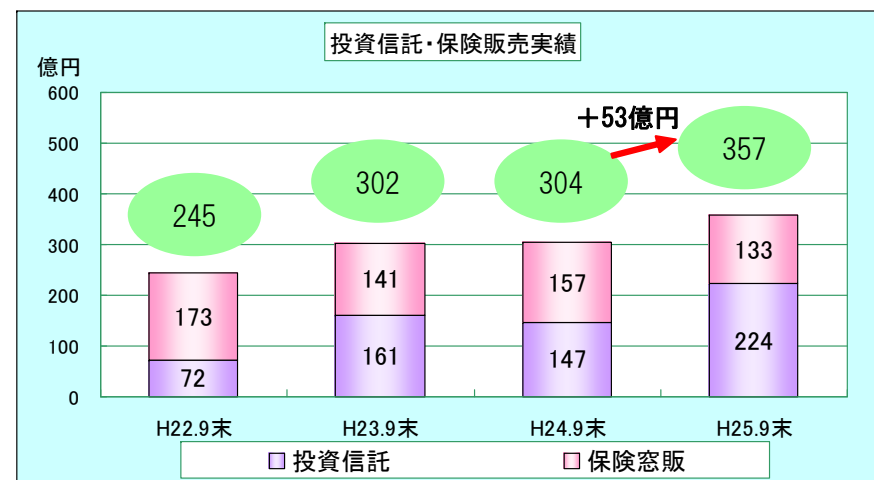
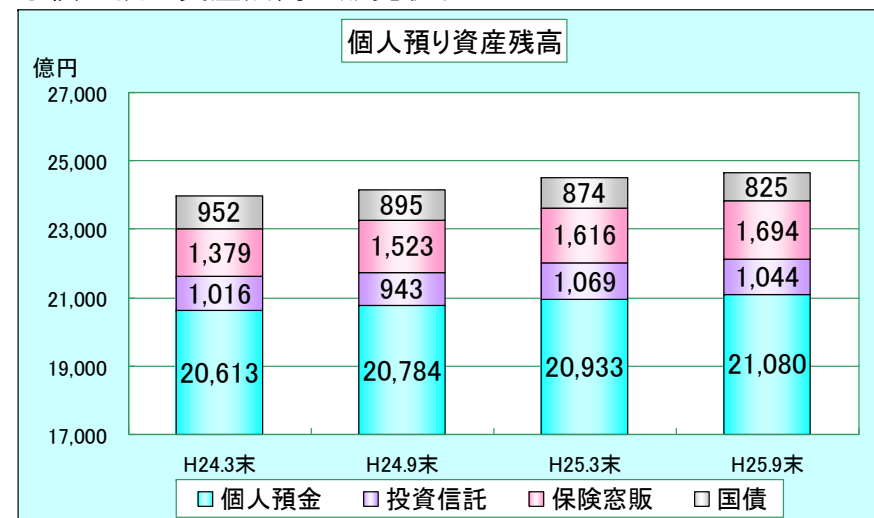
預金・預り資産

- 預金（含む譲渡性預金）は、個人預金及び公金・金融預金が増加し、24年9月末比+456億円の3兆1,169億円となりました。
- 個人預り資産では、市況の回復により投資信託の販売が増加しました。

○預金等末残



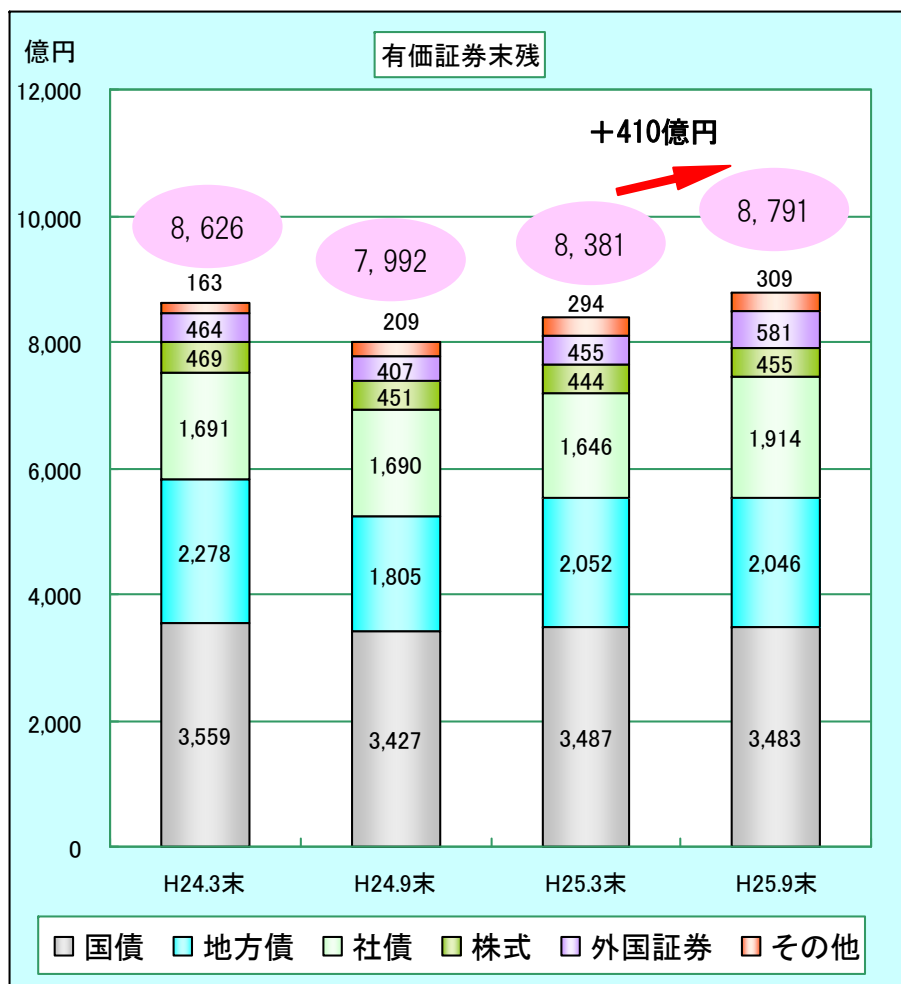
○個人預り資産残高・販売状況



有価証券

- 有価証券残高は、前期末比+410億円の8,791億円となりました。
- 有価証券の評価損益は株式を中心に増加し、全体では前期末比+22億円の494億円となりました。

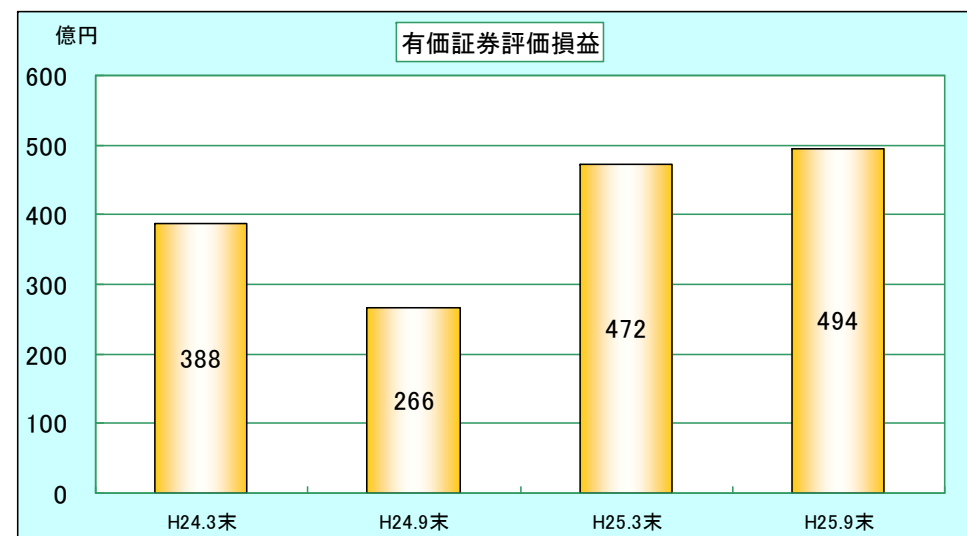
○有価証券末残(取得原価ベース)



○有価証券の評価損益

(億円)

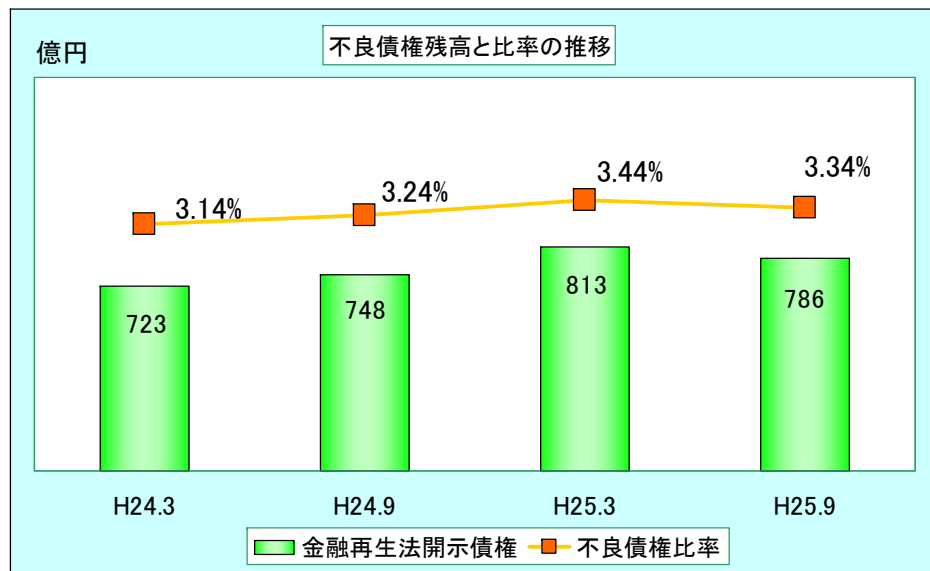
	H24.3末	H24.9末	H25.3末	H25.9末	増減 (25.3末比)
評価損益合計	388	266	472	494	22
株式	224	105	278	357	79
債券	157	155	184	139	△ 45
その他	6	5	8	△ 2	△ 10



不良債権残高／自己資本比率の状況

- 不良債権比率は、不良債権処理を進めた結果、前期末比△0.10%の3.34%に低下しました。
- 自己資本比率は、前期末比0.15%上昇し13.26%となりました。また、自己資本の質の高さを示すTier1比率は12.44%へ上昇しました。

○不良債権残高の状況

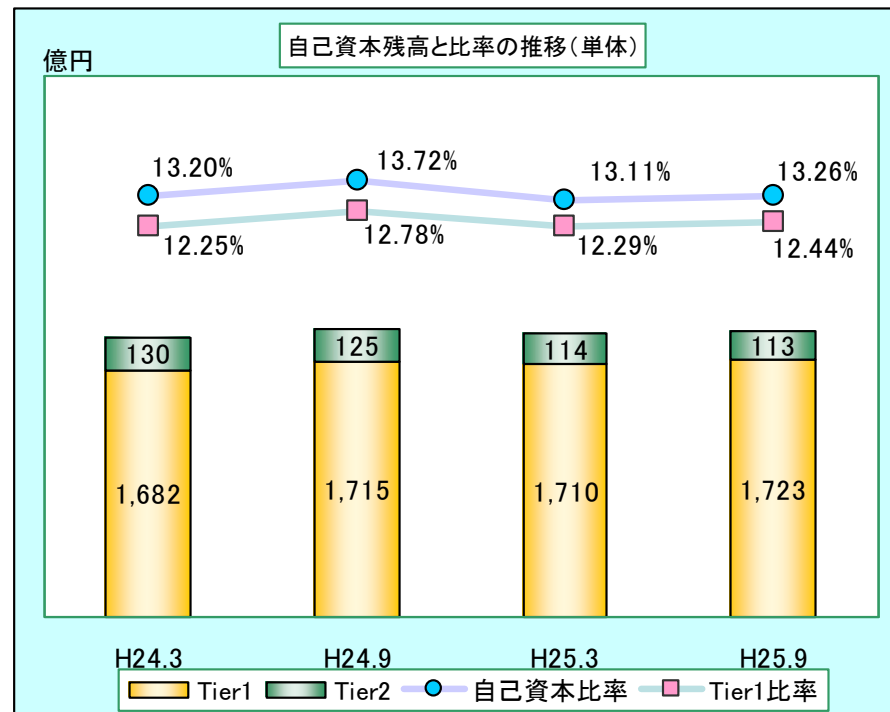


(億円)

	H24.3末	H24.9末	H25.3末	H25.9末	増減 (H25.3末比)
破産更生債権等※	168	165	143	130	△ 13
危険債権	493	518	662	635	△ 27
要管理債権	61	65	7	20	13
計	723	748	813	786	△ 27
不良債権比率	3.14%	3.24%	3.44%	3.34%	△0.10%

※破産更生債権及びこれらに準ずる債権

○単体自己資本比率



	25年3月末	25年9月末	増減
単体自己資本比率	13.11%	13.26%	0.15%
(Tier1比率)	(12.29%)	(12.44%)	(0.15%)
連結自己資本比率	13.69%	13.87%	0.18%
(Tier1比率)	(12.84%)	(13.04%)	(0.20%)

平成26年3月期業績予想

- ・ 経常収益は54,000百万円（前期比△4,248百万円）を予想しております。
- ・ コア業務純益は16,000百万円（前期比△1,098百万円）を予想しております。
- ・ 経常利益は12,500百万円（前期比+549百万円）を予想しております。
- ・ 当期純利益は6,000百万円（前期比△361百万円）を予想しております。
- ・ なお、本年5月に発表した業績予想からは経常収益、経常利益について上方修正しておりますが、当期純利益、コア業務純益については変更ありません。
- ・ 配当は創立70周年の記念配当を含め、年間7円を予想しております。

○平成26年3月期業績予想

【単体】

(通期)

(百万円)

	25年3月期実績	26年3月期予想	前期比	(ご参考) 当初予想
経常収益	58,248	54,000	△ 4,248	52,000
経常利益	11,951	12,500	549	11,000
当期純利益	6,361	6,000	△ 361	6,000
コア業務純益	17,098	16,000	△ 1,098	16,000

【連結】

(通期)

	25年3月期実績	26年3月期予想	前期比	(ご参考) 当初予想
経常収益	69,314	64,000	△ 5,314	62,000
経常利益	14,123	14,000	△ 123	12,000
当期純利益	6,994	6,400	△ 594	6,200

1株当たり配当金

年間	うち期末
7円00銭	3円50銭

経常収益

- ・ 有価証券売却益や資金運用収益の減少などから、前期比△4,248百万円を予想。
- ・ 5月発表業績予想から2,000百万円上方修正。

コア業務純益

- ・ 市場金利が低位で推移することによる運用利回りの低下を原因に資金利益の減少が見込まれることから、前期比減少の16,000百万円を予想。
- ・ 5月発表業績予想から変更なし。

経常利益

- ・ 不良債権処理費用の減少を見込むことから、12,500百万円を予想。
- ・ 不良債権処理費用予想 通期3,300百万円（当初予想比△700百万円）
- ・ 5月発表業績予想から1,500百万円上方修正。

当期純利益

- ・ 当期純利益は前期並みの6,000百万円を予想。
- ・ 5月発表業績予想から変更なし。

配当

- ・ 配当は安定配当に加え、配当性向25%~30%を目処とする業績連動型配当の考え方にに基づき実施する。
- ・ 年間配当は安定配当相当額の6円（中間配当3円、期末配当3円）に加え、創立70周年記念配当1円（中間配当50銭、期末配当50銭）を予定。